

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

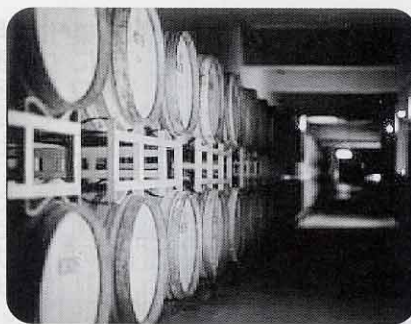
ワイン研修で産学連携へ

経済建設委員会

経済建設委員会は平成19年度一般会計歳入歳出決算認定や同年度下水道事業会計決算認定、20年度一般会計補正予算案など13議案を審査し、いずれも原案の通り認定又は可決しました。

平成19年度一般会

計歳入歳出決算認定については、委員より有害鳥獣対策は総額千五百万円余になるが、効果はどうかとの質問に対し、猿は効果が出ており、出没の報告件数に変化はないが、出没時に駆除できる体制になったとの答弁。また農業者育成のワイン研修について、その動向と今後の展開への質問に対し、平成14年度から継続し、



産学連携によるワイン研修に期待

復元住居の防火設備強化へ

福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された議案は計7件で、審査の結果、すべて原案の通り認定又は可決すべきものとなりました。

平成19年度一般会計決算認定については、委員から、図書購入費のうち、えんぱーく開館に向けて



補正予算によって平出遺跡の復元住居の防火対策を行う

の購入分の内容について質問があり、今まで収集できなかったもの、新館のめざす専門性を重視して選書しているとの説明がありました。

平成20年度一般会計補正予算のうち、史跡平出遺跡に関しては、焼失した復元住居の解体処分委託料と、防火設備として防犯カメラ及び炎センサーを各5台設置するための

ものとの説明を受けました。委員より、今後の方向について質問があり、正式ではないが、問題を解決しながら21年度に再建する方向で考えているとの説明がありました。

また「少人数学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願」は審査で採択とし、国へ意見書を提出することとなりました。

平成19年度決算認定

総務環境委員会

総務環境委員会に付託された議案は、決算案件5件、条例案件4件、事件案件1件、予算案件3件で、慎重審査の結果すべて原案の通り認定又は可決されました。

本定例会より、各部ごとの審査となり、

項目ごとの細部にわたり説明と予算の執行状況が把握でき、活発な質疑が行われました。財政状況が厳しい中での適正な運用に努めるよう各委員より指摘があったほか、今後の見通しや、来年度予算に生かされるような質疑が多く、歳入については、滞納整理の状況、不納欠損についての質問が多く出されました。



滞納整理の状況や不納欠損について質問が多く出された

また経費削減については、削減できる方法により努力していることは理解できるが、さらに研究削減に努めてほしい。

起債については、有利なものを選択活用し、経常収支比率の改善を行うなど、行政運営の更なる健全化に向けての議論が行われました。